

第 3 回八代市総合計画策定審議会発言要旨及び対応

	委員意見・提案の要旨	左記についての考え方
1	<p>将来目標人口 13 万人とある。8 千人増加するための手段、方法については今後、十分にご検討願いたい。</p> <p>また、推計人口結果の年齢別人口から考慮すると、高齢者が増え、特に後期高齢者（75 歳以上）が増加すると思われる。実施計画などを策定する際には、後期高齢者対策についても十分に検討頂きたい。</p>	<p>高齢者を支える世代に住んでいただける社会、そして元気な高齢者が安心して定住できる施策を基本計画に反映したいと考える。</p>
2	<p>基本構想序論の社会の潮流の「少子高齢社会の進展」文中に「平成 18 年をピークに」とあるが、最新の情報ではもっと早まり、人口減少し、高齢化が進むとしている。</p> <p>加えて、八代市は他地域より高齢化が進んでいる。前期高齢者と後期高齢者の要介護度は 7 倍違う。介護財政や老人医療などの負担が減るような、健康づくりやスポーツ振興など具体的な施策を考えていただきたい。</p>	
3	<p>「郷土を拓く人を育むまち」の中の「八代の未来を担うひとづくり」に『「生きる力」を育む』という言葉を使っているが、幼い頃から、ルールを身に付けておくことが大切で、正義感や倫理感、思いやりのある心など人間性を育む教育が大事である。</p> <p>学校教育のみならず幼児教育においても同じと考えるので、食育と同じように、幼児教育分野を読み取れるように活字として表現して頂きたい。</p>	<p>「郷土を拓く人を育むまち」の中の「八代の未来を担うひとづくり」文中に「発達段階に応じた学力を培う」に（幼児教育における生きる力を含む）と考えている。</p> <p>しかし、文言の書き方について検討したい。</p> <p>【対応】本論第 2 章第 3 項 文中、下線追記。 （略）・・・「生きる力」を育むため、幼少時から社会生活のルールを身に付けさせ、学校・家庭・地域が連携し、未来を担う世代の育成に取り組む必要があります。…（中略）…発達段階に応じた学力を培うとともに、正義感や倫理観などを育み、心身ともに健全でたくましく、・・・（略）</p>
4	<p>市民アンケートの中の意見として、「企業誘致」などは高い要望があるが、「道路整備」についてはあまり要望が無いように見える。</p> <p>経済界から見たら、「港湾」と「道路」は重点事項で、企業誘致のためには道路整備が必要である。</p> <p>目標を定めた後、その手段は何であるか。その手段を市民は期待している。</p>	<p>八代の状況を視野に入れ、今回の将来像を設定した。しかし、計画策定後は、実効性があることが重要である。</p> <p>計画策定後は、これまで欠落していた、計画策定後の「評価」という部分に取り組んでいく必要がある。</p> <p>総合計画の基本構想部分では、市として取り組むべきことが見えにくいのが、この後策定する基本計画の中で、市として重点的に取り組むべき分野や施策、重点プロジェクトなどを具体的にお示ししたい。</p>
5	<p>地域別ワークショップのメンバーが替われば、意見も変わる。</p> <p>「元気づくりトーク」でもいろんな発言がなされているが、一個人の発言が地域全体の意見に当たるのか、という問題もある。</p> <p>そのことから旧市町村の職員は行政のプロなので、そういう方の意見も反映して欲しい。</p>	
6	<p>総合計画が出来たとき、市は何をするのか市民が分かるような、実行性のあるものを作り上げてもらいたい。</p>	
7	<p>これは基本構想なので、全体的に網羅されており、これで結構である。これから策定を検討する基本計画や実施計画で、メリハリの効いたものが出来れば良い。</p> <p>合併後の地域の色々な問題、特徴を基本計画などに反映されることを期待する。</p>	
8	<p>学校教育だけが「生きる力を育む」ことに努力するだけでなく、就学前から「生きる力」を入れてもらいたいということについて、「安心して出産・子育てができるまちづくり」の中に「生きる力の基礎を育む」ことを入れて頂きたい。</p> <p>また、「人権が尊重される平等なまちづくり」の文中、「いまだに存在し」という表現があるが、「いまだに」に、続く表現として「存在しない」と読んでしまうので、「いまだ」なら「ない」、「いまも」なら「ある」と私は思う。表現について再考いただきたい。</p>	<p>ご指摘の表現については再考したい。</p> <p>【対応】本論第 1 項 文中、下線文書追加。 ・・・（中略）・・・育児支援などの充実を図り、子どもの「生きる力」を育み、安心して子育てができる環境づくりを進めます。</p> <p>【対応】本論第 1 項 文中、下線表現変更 ・・・（中略）・・・偏見や差別意識は今なお存在し、・・・（中略）・・・</p>
9	<p>情報発信の面では、八代はかなり遅れているのではないかと。</p> <p>八代は、ルイスフロイス宣教師がヨーロッパで日本史を表した時に、「こんなに美しい町はない」と書いている八代の文化的な分野について、八代市民も職員もみんなで八代の情報を発信すると言うようなことに努めていただきたい。</p> <p>構想の文中に「文化のかおり高いまちづくり」という表現もあることから、情報発信の表現を一言入れて頂きたい。</p>	<p>構想（素案）「文化のかおり高いまちづくり」文中に「市内外への積極的な情報発信を行い、魅力あるまちづくりに役立てます」にて網羅されていると考える。</p> <p>また、基本計画の中でも「情報発信」に関する施策を反映させていきたいと考える。</p>

第3回八代市総合計画策定審議会発言要旨及び対応

委員意見・提案の要旨	左記についての考え方
以下、後日提出意見	
<p>10 基本構想をつくるにあたり、より具体的・実効性のあるもの 市民から見てもわかりやすいもの 雇用の増大を図るべき 観光客の増進に努める 以上が必要と考える。 地域に若者が残り、外部から多くの人々が地域に来るような八代市を目指すべき。 基本構想策定後は実効性をチェックすることが必要。 チェックすることについても基本構想にうたうべき。</p>	<p>総合計画は基本構想、基本計画、実施計画にて構成される。基本構想については総論部分になるので、 についての「実施するためにはどのような施策を行うのか」という点については、基本計画、実施計画のなかで策定していく。 については、基本構想については現在の素案も総論をうたいながら、わかりやすく、簡易な表現に努め、ご指摘の については施策の大綱第4項「豊かさにとぎわいのあるまち」の文中に表現していると考え。 実効性をチェックすることが重要と考えるが、この点についても、今後策定する基本計画の中で表現していく予定である。</p>
<p>11 市民アンケート・ワークショップから「現状認識」「今後の課題・取り組み」についての方向性が示唆されている。 市民の市政への感心は高く、「広く情報を収集し、市民の意見を市政に反映して欲しい」「まちづくりに参加したいので、情報や活動の場の提供などが欲しい」などの要請もみられる。 住民自治によるまちづくりの推進も計画されている。協働のまちづくりに向けて、「市政へ如何に多くの市民に参画していただくか」が重要である。今後、策定される具体的な施策が重要となる。 また、合併効果についても結果を公表し、実感できるまちづくりが必要と考える。</p>	<p>市民意見を多く取り入れた「協働のまちづくり」の実現に向けて、取り組むべき具体的な施策を基本計画に反映したいと考える。</p>
<p>12 施策の大綱「第1項 健やかに暮らせるまちづくり」の文中、「生活様式の多様化に伴い、生活習慣病の増加や若年年齢化が進んでいます。さらに・・・」とあるが、意味として「生活習慣病（を患っている人）が増加しているが、これは高齢者だけでなく、若年年齢化が進んでいるため」と表現するのであれば原文では読み取りにくい。 表現を再考いただきたい。</p>	<p>本文の表現の趣旨としては、「《原因》生活習慣病の若年年齢化がすすむことにより、《結果》生活習慣病が増加している」ということではなく 生活習慣病の増加 生活習慣病の若年年齢化 の2点が並列して進んでいる旨を表すため、このような表現としている。</p>
<p>13 指標や統計の数字などのバックデータについては引用や資料名を附記したほうが見やすい。</p>	<p>ご指摘のとおり、引用や、資料名について表記したい。 【対応】各種データについて引用・資料名追記。 また、データの資料名を見やすく表記した。</p>

八代市総合計画策定審議会意見要旨(後日提出:八代地域振興局分)

項目	箇所	意見	事務局:左記についての考え方
1 総合計画の策定の意義 総合計画の性格と役割	1行目 市民と行政が協働して総合的かつ計画的にまちづくり	次ページでは「総合的かつ計画的」と表記されている。	【対応】 「総合的」表記で統一。
3 八代市の概況	・・・臨海工業用地の造成や港湾整備の充実・・・	「港湾施設の充実」もしくは「港湾整備」とし「の充実」を削る。	【対応】 「港湾施設の充実」
4 社会の潮流 地方分権時代への対応	地方自治体がそれぞれの判断と・・・	「地方自治体が」の前に、「平成11年の「地方分権一括法」の成立を受け、住民に身近な基礎自治体である市町村の役割はますます重要となり」といった記述の挿入を検討。	【対応】 意見に沿った文面を追記。
2. 将来推計の方法	コーホート法	「コーホート法」の説明書きを加えることを検討。	【対応】 正式には「コーホート要因法」。説明書き追記。
3. 推計結果 (1)人口推計	趨勢	すう勢が一般的。	【対応】 「すう勢」にて修正
	年齢3区分人口のデータ表	表側の「年少人口、生産年齢人口、老年人口」の表記と、棒グラフ右側の区分(年齢)の表記の整合。 単位に「人」を入れることを検討。	【対応】 意見箇所修正。
基本構想(本論) 第1章まちづくりの理念と市の将来像 第1節まちづくりの理念	このことから・・・まちづくりの理念を定めます。	この3行は、「まちづくりの理念」と重複するので、「このことからまちづくりの理念を次のように定めます。」といった簡素化を検討。	新市建設計画を引き継いだ上で新市の特徴、魅力を活かすという観点を表現している3行であるため、削除することは不適切と考える。
第2節施策の大綱 第1項誰もがいきいきと暮らすまち 安心して出産・子育てができるまちづくり	全体 ・・・子育てできる環境作りを進めます。	国の次世代育成支援に関する取組方針では、より進んだ表現を使用しており、国並みの表現とすることについても検討。(例えば「男性を含めた働き方を見直し」「仕事と子育ての両立」など。) 出産後の取組みばかりでなく「次世代を育む親となるための支援」(思春期対象の支援等)についての記載を検討。	【対応】 基本計画策定に於いて検討する 【対応】 基本計画策定に於いて検討する
健やかに暮らせるまちづくり	・・・食育を基礎とした子どもの頃からの健康づくりを積極的に推進します。 ・・・地域支援体系の確立を	下線部については「推進するとともに、青壮年や高齢者の健康づくりを積極的にすすめます」とするなど青壮年や高齢者に関する記述の追加を検討。	【対応】 意見箇所の前行において「市民誰もが生涯を通して・・・」としているので青壮年、高齢者も含まれている。変更無し。 【対応】 組織の確率を想定していないため修正せず。
第3項安全で快適に暮らせるまち	九州山地の最深部から・・・	2頁の「3 八代市の概況」では、九州山地の脊梁地帯と表記。	【対応】 「脊梁地帯」に表現統一。
うるおいのある快適なまちづくり	また、都市の拠点性を・・・	都市の拠点性向上については、の「暮らしを支える」の項との関連も大。交通基盤整備として一括して整理も検討。	【対応】 都市の拠点性については同項に表現集約
安全で安心なまちづくり	全体	地域特性として「高潮等」の危険性についての記述を検討。	【対応】 「高潮」の記述追記。
第4項 豊かさにとぎわいのあるまち 豊かな農林水産業のまちづくり	全体	地産地消についての記述も検討	【対応】 基本計画策定に於いて検討する
にぎわいのある観光のまちづくり	全体	団塊の世代対策についての記述も検討	【対応】 基本計画において検討する。